

ケンブリッジ大学夏期法学研修に参加するにあたって

Q1. 研修に参加して良かったと思うことは何ですか？

まず、単純に英語のスキルが上がったことです。現地では英語があたり前な環境でかつ協力的な学生や教授がたくさんいるので自分が英語を使うことをためらわなければ間違いなく英語力は上達すると思います。また、そこでのメンバーとの出会いもかけがえのないものになりました。共同生活する間、お互いの性格を尊重しあい、助け合うことができました。そのおかげで、研修をより充実したものにできました。

Q2. 研修に参加したことで、どんな力がつきましたか？ どんな点が成長したと思いますか？

上記でも述べたように英語力は間違いなく上達したと思います。ほかには主体性や積極性がついたと思います。多くの生徒がプログラムに一人で参加しているので、参加する段階からそれらの力は求められます。またプログラム中でも一か月を無意味なものにしないために現地の学生や教授に積極的に話しかけることが求められると思いました。その点で積極的、主体的態度は欠かせないと思います。

Q3. 研修に参加したことで、今後の学習面と将来のキャリアに関し、どんな気づきがありましたか？

学習の面ではより英語脳で学習する必要があると感じました。現地では reading よりも speaking や listening が主だったので、主語、述語という流れが当たり前でより早く思いつくことができるようになったと思います。このことは reading にも活きると思うので継続したいです。将来との関りという面ではキャリアを築くうえで新しいことに挑戦する機会が多い仕事にしたいと感じました。新しい刺激を持って、毎日を生活できるようにしたいと感じました。

Q4. 研修中の一番の思い出は何ですか？

最後のフォーマルディナーです。最初のフォーマルディナーは正装ということもあり、みんな緊張していましたが、最後のフォーマルディナーはテスト後ということもあり、開放感に満ち溢れていました。P Aはもちろん、それまでお世話になった教授も来てくれて、お酒の影響もあり、授業中よりたくさん会話を楽しむことができました。最高に楽しい一日でした。

Q5. 未来の参加者へのメッセージ（次年度以降の参加者に向けて、これだけは伝えたい！と思うことを先輩として、メッセージをお願いします。）

自分は今回の研修メンバーのなかで成績は最下位クラスでした。最初の説明会で質問の時に「GPA に下限はありますか」と聞くほど成績も悪く、自分が参加できるとは思っていませんでした。参加する人はみ

んなお堅い人たちなのだろうと思っていました。しかし、いざ参加するとみんな面白くて、僕と同じような考えの人はほかにもいることを知りました。参加が決まった後は、自分が一番馬鹿だと自覚して努力し、大変なことも多かったですが、楽しい、新鮮な思い出のほうが圧倒的に多かったです。

僕はこのプログラムの存在をたまたまポスターで知って、その時の生活に刺激を与えるという目的もあり、応募しました。弁護士とか目指す人はもちろんですが、今の生活を変えたい、自分を変えたいという人には参加する価値はあると思います。